

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(20歳代男性)があり、症状は、全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常です。推定感染地域は国外(台湾)で、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は3例となっています。
- ・ 侵襲性髄膜炎菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は頭痛、発熱、嘔吐、意識障害、ショック、菌血症、多臓器不全です。本年の累積報告数は3例となっています。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は梅毒性バラ疹、推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は25例(男性13例、女性12例)で、男女比がほぼ等しくなっています。
- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は1.31(55例)で、平成28年第1週以降、最も多い報告数となっています。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

- ・ 本市では、平成28年4月から6月までの間、AIDS患者2例、HIV感染者3例の計5例の報告がありました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 7例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 225例(肺結核 123例, その他結核 47例, 潜在性結核感染者 55例)うち喀痰塗抹陽性 56例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:侵襲性髄膜炎菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:梅毒(早期顕症) 1例【1月以降の累積報告数 25例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 60	151
	② 流行性耳下腺炎	1. 31	55
	③ 手足口病	0. 67	28
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 55	23
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 33	14
眼科	流行性角結膜炎	0. 40	4

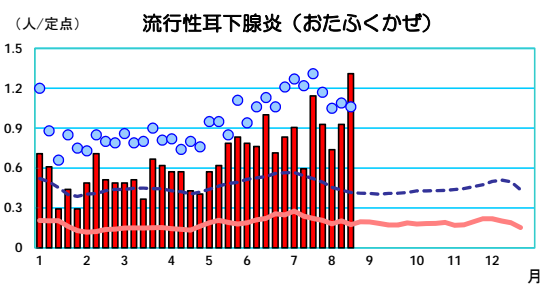
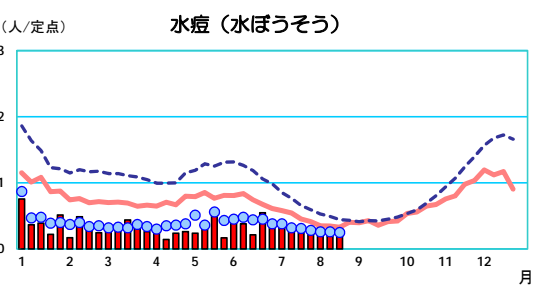
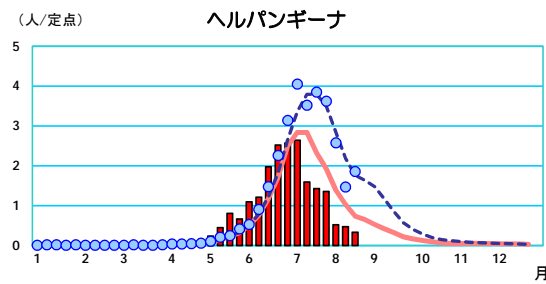
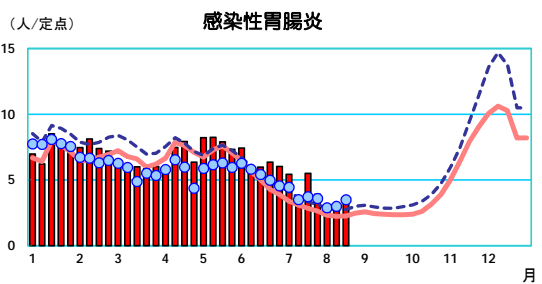
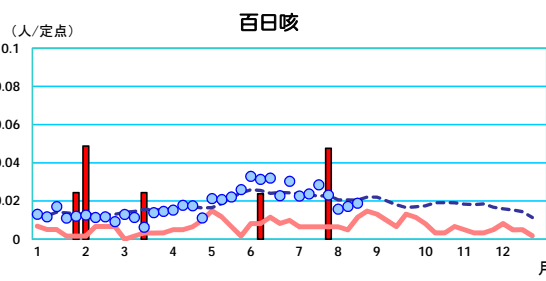
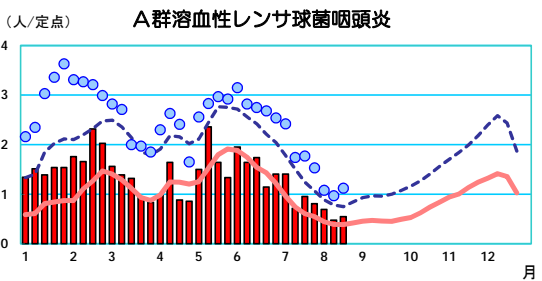
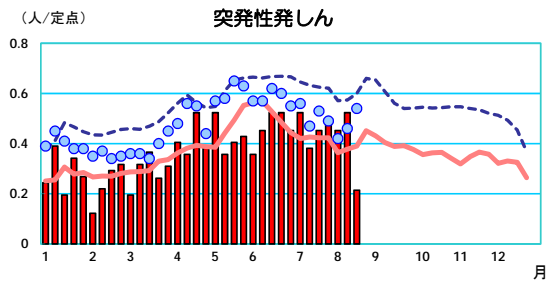
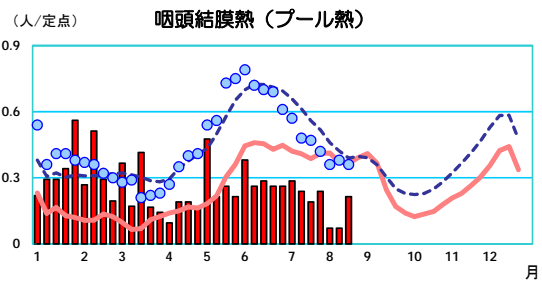
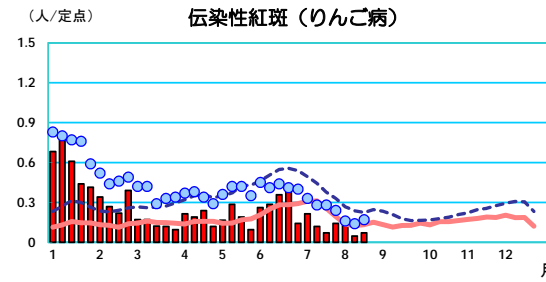
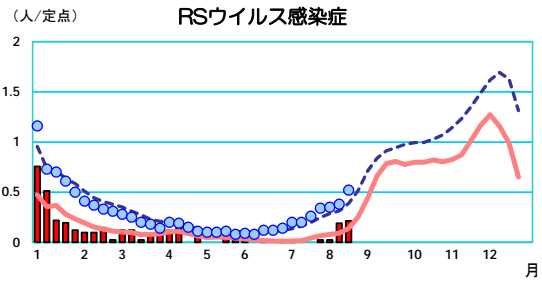
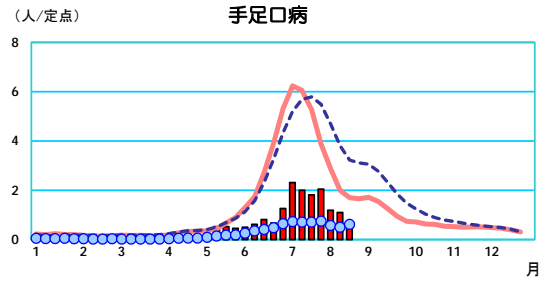
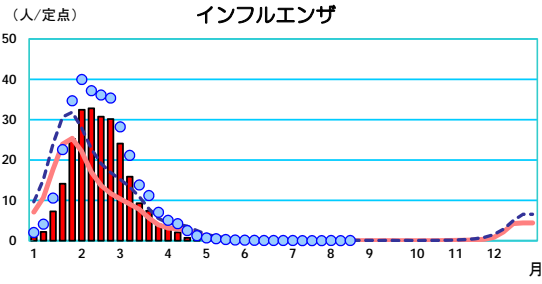
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年9月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第34週(8月22日～8月28日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとの後天性免疫不全症候群(AIDS)患者・ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染者数を公表しています。本市では、平成28年4月から6月までの間、AIDS患者* 2例、HIV感染者** 3例の計5例の報告がありました(平成28年8月29日広報発表 下記URL参照)。

昭和62年以降の累積報告数は297例(AIDS患者 97例(32.7%), HIV感染者200例(67.3%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が240例で、全体の80.8%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が130例と最も多く、全体の43.7%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

AIDSは、HIV感染を原因とし、免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍等を引き起こす状態です。近年、治療薬の進歩により、早期に治療を受ければ免疫力を維持し、AIDSの発症を抑えることが可能となってきました。しかしながら、服薬を一生続けなければならず、長期治療例において血中HIV量が抑制できているにもかかわらず、通常より若年で悪性腫瘍や認知障害を発症するケースが報告されています。

HIVは感染者の精液・膣分泌液・血液・母乳を介して、粘膜や傷口から入り込みます。推定感染経路の約8割が性行為であることから、性行為時におけるコンドームの正しい装着が感染予防に非常に有効です。また、感染拡大の防止のためHIV感染の早期発見が重要です。京都市では、夜間及び土曜日にHIV即日検査を行っています。詳細については、以下のホームページを御覧ください。

* AIDS患者 : AIDSと診断されて発症が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

** HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

【感染予防等について】

○京都市情報館「エイズとは？」 <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000034032.html>

【京都市のHIV抗体検査・相談について】

○「京都市のエイズ対策について」 <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000089734.html>

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000136959.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成23年	229	74	155	212	17
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年(1～6月)	11	4	7	11	0
総 計	297	97	200	275	22

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成28年(1～6月))

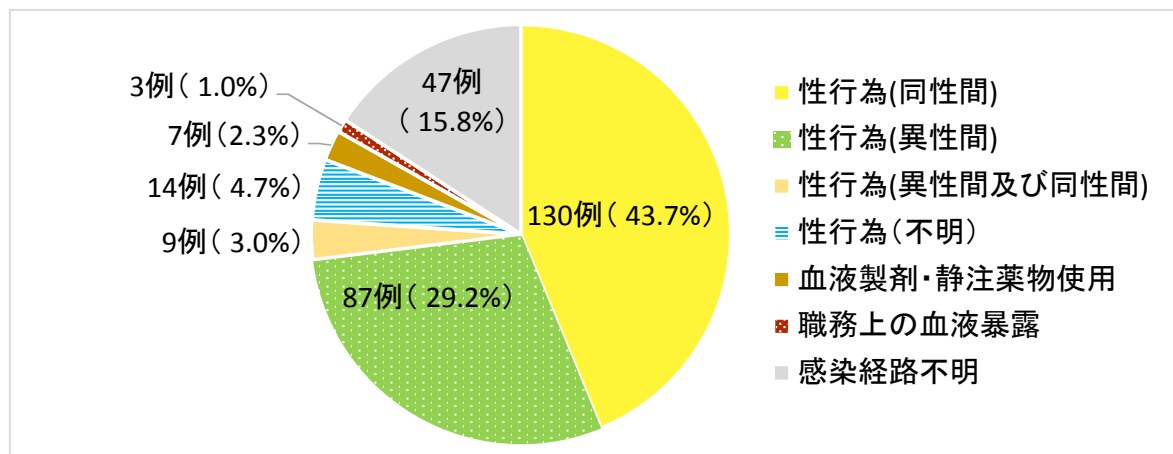
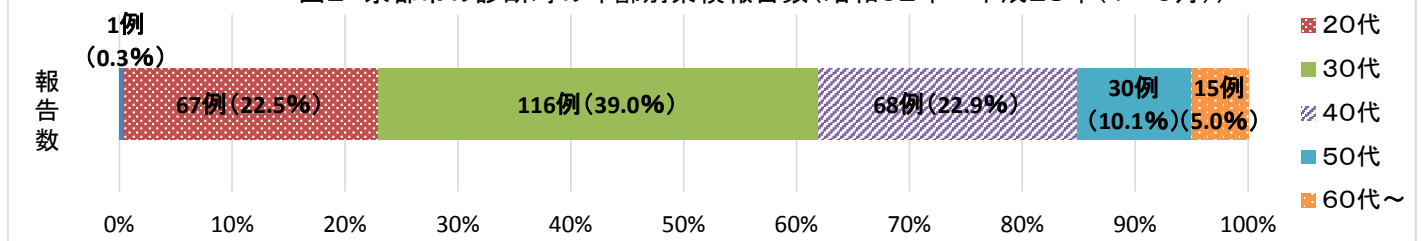


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成28年(1～6月))



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第34週

疾病,行政区別報告数

平成28年8月22日～平成28年8月28日

データ入手日:平成28年9月1日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																			
北	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	3	1	-	-					
上京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
左京	-	2	1	9	27	-	8	-	3	-	2	2	-	-					
中京	-	1	-	-	10	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	22	1	-	-	-	-	1	-							
山科	-	1	-	6	5	-	-	1	-	-	-	14	-	-					
下京	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	1							
南	-	-	2	1	10	1	1	1	-	-	-	12							
右京	-	4	4	2	18	1	6	1	2	-	2	4	-	4					
伏見	-	-	-	2	35	8	7	-	2	-	2	16	-	-					
西京	-	-	1	3	18	1	1	-	2	-	1	5	-	-					
京都市計	-	9	9	23	151	13	28	3	9	-	14	55	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																			
北	-	0.25	0.25	-	0.75	-	-	-	-	-	0.75	0.25	-	-					
上京	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-					
左京	-	0.50	0.25	2.25	6.75	-	2.00	-	0.75	-	0.50	0.50	-	-					
中京	-	0.33	-	-	3.33	0.33	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	11.00	0.50	-	-	-	-	0.50	-							
山科	-	0.25	-	1.50	1.25	-	-	0.25	-	-	-	3.50	-	-					
下京	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	1.00	0.50							
南	-	-	0.67	0.33	3.33	0.33	0.33	0.33	-	-	-	4.00							
右京	-	0.80	0.80	0.40	3.60	0.20	1.20	0.20	0.40	-	0.40	0.80	-	4.00					
伏見	-	-	-	0.29	5.00	1.14	1.00	-	0.29	-	0.29	2.29	-	-					
西京	-	-	0.20	0.60	3.60	0.20	0.20	-	0.40	-	0.20	1.00	-	-					
京都市計	-	0.21	0.21	0.55	3.60	0.31	0.67	0.07	0.21	-	0.33	1.31	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:平成28年第34週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年8月22日～平成28年8月28日

データ入手日:平成28年9月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	9	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		9	-	-	3	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	-	-	1	2	1	4	6	2	2	1	1	1	2						
感染性胃腸炎		151	3	16	18	13	19	8	11	5	4	7	3	20	9	15						
水 痘		13	1	-	1	4	2	1	2	-	-	1	-	1	-	-						
手 足 口 病		28	-	2	9	10	4	1	-	1	-	-	1	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		3	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
突発性発しん		9	-	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		14	-	6	2	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	年齢2	55	-	-	2	4	10	4	6	6	10	4	3	6	-	-						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.21	0.02	-	0.17	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		0.21	-	-	0.07	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	0.05						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.55	-	-	-	0.02	0.05	0.02	0.10	0.14	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.05						
感染性胃腸炎		3.60	0.07	0.38	0.43	0.31	0.45	0.19	0.26	0.12	0.10	0.17	0.07	0.48	0.21	0.36						
水 痘		0.31	0.02	-	0.02	0.10	0.05	0.02	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-						
手 足 口 病		0.67	-	0.05	0.21	0.24	0.10	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.21	-	0.12	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百 日 咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.33	-	0.14	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-						
流行性耳下腺炎	年齢2	1.31	-	-	0.05	0.10	0.24	0.10	0.14	0.14	0.24	0.10	0.07	0.14	-	-						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第34週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年9月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	1	-	-
RSウイルス感染症	-	-	1	1	8	9
咽頭結膜熱	10	8	10	3	3	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	40	34	29	20	23
感染性胃腸炎	143	231	164	125	122	151
水痘	14	10	10	14	9	13
手足口病	84	76	86	50	46	28
伝染性紅斑	5	3	6	7	2	3
突発性発しん	16	19	20	19	22	9
百日咳	-	-	2	-	-	-
ヘルパンギーナ	67	60	57	22	20	14
流行性耳下腺炎	25	48	39	31	39	55
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	2	2	3	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	2	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	398	495	432	304	296	318

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	-	-	0.02	0.02	0.19	0.21
咽頭結膜熱	0.24	0.19	0.24	0.07	0.07	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.95	0.81	0.69	0.48	0.55
感染性胃腸炎	3.40	5.50	3.90	2.98	2.90	3.60
水痘	0.33	0.24	0.24	0.33	0.21	0.31
手足口病	2.00	1.81	2.05	1.19	1.10	0.67
伝染性紅斑	0.12	0.07	0.14	0.17	0.05	0.07
突発性発しん	0.38	0.45	0.48	0.45	0.52	0.21
百日咳	-	-	0.05	-	-	-
ヘルパンギーナ	1.60	1.43	1.36	0.52	0.48	0.33
流行性耳下腺炎	0.60	1.14	0.93	0.74	0.93	1.31
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	-	0.20	0.20	0.30	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	2.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	9.78	11.79	11.41	7.38	9.23	7.88

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。